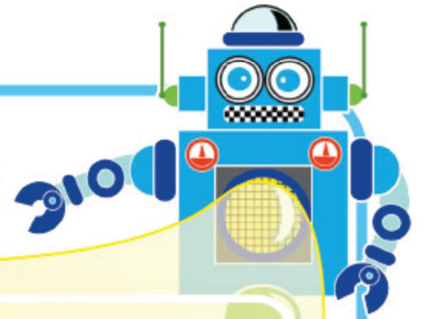


## コラム 椀貸塚古墳の名前の由来

椀貸塚古墳には、椀貸伝説が残されており、それにちなんで古墳の名前がついたといわれています。



ずっと昔、椀貸塚の近くに住んでいた一人の百姓がいました。その人は気立てがよく正直で信心深い人で、毎日椀貸塚にお参りしていました。ある年の春、その人の家で法事をするようになりました。家が貧乏なため、食事をあげるのに使うお膳もお椀もありません。ある日、いつものように椀貸塚にお参りしたその人は、思わず、悩みを目に見えない塚の主に見つけました。

翌日の朝、椀貸塚にお参りに来ると、驚いたことに塚の入り口にお膳とお椀が十人前ほど、きちんと置いてあります。塚の奥に向かって頭を下げ、お礼を言って法事に使わせてもらいました。そして、きれいに洗って、大事に元の通り塚の入り口に返し、改めてお礼を何度も言いました。

このことは、村の人に次々と伝わり、今まで以上に椀貸塚を信仰するようになるとともに、婚礼や法事などの時にはお願いしてお膳やお椀を借りていました。しかし、ある時、借りていた百姓が借りたお膳やお椀を洗っているとき、お椀を一つ取り落として欠けて使えなくなりました。仕方なく欠けたお椀を残して、塚の入り口にお返ししました。そんなことがあってから、お膳やお膳は貸してくれなくなりました。

『ふるさとむかしむかし』大野原町より

椀貸塚古墳からは、1400年前の土器である須恵器が発掘されていますが、そのようなところから、この椀貸伝説が生まれたのかもしれませんが。

## コラム 椀貸塚古墳の奥壁 原寸大の模型

『ふるさと学芸館』には、椀貸塚古墳の四国最大規模である横穴式石室の奥壁の原寸大模型が展示されています。

レリーフ模型ですが、横幅約3.5m×高さ約3.8mの大きさを、自分の大きさと比べながら体感してみましょう。

